



平成24年度 城山地区地域活性化事業交付金 交付決定事業実績

平成25年3月31日現在

事業等の名称	団体名	事業実績の概要				交付決定 年月日	交付金額 (単位:円)
		事業の目的	事業の実績	事業の成果	事業実施団体による自己評価		
1 自治会活性化事業	原宿自治会	自治会が主体となって、高齢者の健康づくり、生きがいつくり、憩いの場づくりを実現することにより、地域コミュニティの活性化を図ることを目的とする。	シニアサロンの開催(全10回) 月1回(7・8月を除く)日曜日 歌のつどい、マジック、フラダンス、水彩画教室、俳句教室、クリスマスコンサート等を実施(9月は原宿自治会敬老会として、「原宿寄席」を実施)	自治会内の65歳以上のシニアの方々を対象に参加者を募ったところ、多くの高齢者の参加があった。1回以上参加した方は100名を超え、中には毎回出席される方もおられ、高齢者の生きがいつくりに大きく貢献できた。 また、普段触れ合うことの少ない自治会員同士が共に新たな体験や取り組みをすることで、会員相互の交流が深まり、豊かな地域コミュニティの醸成に貢献できた。	事業の初年度ということもあり、試行錯誤を繰り返しながらの取り組みであったが、自治会役員をはじめ多くの地域の方のご協力をいただき、大きな成功を収めることができたと評価している。 まだ課題はあるが、事業を軌道に乗せることができたため、今後も継続して効果的な事業運営を心がけるとともに、自治会員の声を生かしながら、さらなる事業の発展に取り組んでいきたい。	H24.6.4	650,000
2 地域の歴史発掘・共有継承事業	城山地域史研究会	歴史講話「津久井の歴史こぼれ話を語る会」を毎月開催し、学校教育や市民の生涯学習及び新たなコミュニティの場を提供するとともに、講話記録集「春林文化津久井の歴史と風土」の刊行事業により、地域の歴史や文化・伝統を後世へ継承することを目的とする。	平成24年1月から12月まで、12回の歴史講座「津久井の歴史こぼれ話を語る会」を開催した。また、その講演内容を講話記録集「春林文化8号津久井の歴史と風土」にまとめ刊行し、市内小中学校、公民館、図書館に配架した。	刊行した「春林文化8号津久井の歴史と風土」は、市内の小中学校・公民館・図書館に配架して、広く市民の皆さんに地域の歴史・文化・風土・伝統を承継することができた。 歴史講座「津久井の歴史こぼれ話を語る会」の開催及び「春林文化8号津久井の歴史と風土」の刊行を通じて、相模原市の歴史・文化・伝統の承継に寄与するとともに、エコミュージアムの推進や公民館活動の活性化にも寄与した。	歴史講座「津久井の歴史こぼれ話を語る会」も今年3月で171回を迎え、また、講話記録集「春林文化」も連続6回発刊することができた。歴史講座では、多くの熱心な受講者に支えられ、地元の古老、地域郷土史研究家、さらには有名大学の教授の皆さんにも快く講師を引き受けていただけるとともに成長した。記録を書籍として残すことの重要性を強く感じており、今後も活動を継続しながら公共的な活動の担い手も育成していきたい。	H24.6.4	829,000
3 自治会加入促進事業	城山地区自治会連合会	自治会加入促進用チラシを作成し、加入・未加入問わず全戸配布することにより、加入世帯の方にはより一層自治会活動を理解していただくとともに、未加入世帯の方には自治会活動を知っていただき、自治会への加入促進を図ることを目的とする。	自治会活動と自治会区域を掲載したチラシを作成し全戸配布(10,000枚)した。 城山もみじまつりの会場において、自治会活動を紹介する写真展示、アンケート調査、啓発物品(スローガン入りのティッシュ・緊急用給水バッグ)の配布を行った。 自治会PRのぼり旗を作成し、各自治会館等に掲出した。	チラシを全戸配布したことによって、「自治会に入りたい」という問い合わせがあり、また、チラシに自治会の活動を掲載したことにより、大勢の方に活動を理解していただくことができた。 アンケート調査では約300名の方に協力をいただき、集計結果から自治会が担う役割の大きさを改めて確認することができたとともに、今後の課題が見つかるなどの成果があった。	城山地区自治会連合会としては初めての試みではあったが、全自治会長が協力して取り組んだこの事業は一定の効果があったと評価している。 1回の事業ですぐに結果が出るものではなく、地道に取り組んでいくことが大切であり、今後も趣向を凝らしながら取り組みを進めていきたい。	H24.6.4	400,000
4 葉山島地域活性化事業	湘南みらい実行委員会	地域の活性化には、次世代の担い手の人材育成や、地域内で活動している自治会、育成会、老人会がより一層連携を深めることが必要であるという視点から、「地域活性化」をキーワードに地域住民が一体となり「秋の収穫祭」を開催し、多くの観光客を呼び込むことで、地域全体の目的である葉山島の振興と活性化を図ることを目的とする。	実施日:10月14日(日) 内容:落花生の収穫体験、地元野菜・加工食品の直売、模擬店、地域の観光案内、その他のイベントコーナー 広報:タウンニュース緑区・中央区・南区版 来場者数:約700名	地元農産物生産者が販売した新鮮な地場野菜は参加者から大変好評で、余剰であった野菜の売り上げ向上に結びついた。一方、生産者もイベントでの販路拡大が図れたことから、休耕地の活用にも積極的になり、休耕地の解消に繋がるとともに、農商工連携への糸口となった。また、地域内で活動している自治会、育成会、老人会が積極的にイベントに参加したことにより、葉山島地域一帯の連携をより一層深めることができた。	秋の収穫祭は、年を重ねる毎に認知度が高まり、葉山島の秋の風物詩として定着するとともに地域の活性化が図られたことは大きな成果であったと評価している。今後も引き続き、各種団体とタイアップし、葉山島周辺の団体との広域的な連携により一層事業を推進していきたい。 また、城山観光協会や城山商工会とも引き続き協力関係を継続し、共に協力し合いながら地域一帯の活性化を図るとともに、開通した圏央道も視野に入れた活動を行っていきたい。	H24.6.4	281,000

事業等の名称	団体名	事業実績の概要				交付決定 年月日	交付金額 (単位:円)
		事業の目的	事業の実績	事業の成果	事業実施団体による自己評価		
5 新しい地域コミュニティ 構築事業	特定非営利活動法人 城山スポーツ&カル チャークラブめいぷる	スポーツ・文化的な活動を通して地 域住民やサークル・クラブの参加交 流を主導し、ネットワーク化や地域情 報の発信・交換の場の提供を行い、 地域住民主導のコミュニケーションの 構築に貢献することを目的とする。	ヒップホップダンス教室 8月～9月に実施 子どもサッカー教室 子ども(親子)サッカー教室として2月2 日(土)と9日(土)の2回実施 発表講演会 タイトルを「ダンス&体操発表会」とし て、地域コミュニティを主体に実施 実施日:3月27(水) 参加者:105名(7チーム50名、スタッ フ・一般観衆55名)	ダンス発表会では、日頃の練習成 果を披露いただくとともに、会場内全 員でダンスや健康体操を行う等、参 加者が一体となって取り組むこと で、お互いの理解が深まり、新しい地域 コミュニティの構築に大きな成果を上げ ることができた。 どの事業も継続を望む声が多く、事 業を継続していくことの必要性を再認 識することができた。	参加者だけではなく、保護者や講 師、スタッフが幅広く交流し、協力し合 うことで新しいコミュニティが構築でき たことは大きな成果であったと評価し ている。 今後も、城山地区のさらなる発展と 新しいコミュニティの深化を進め、住 民主導の新しい地域コミュニティの構 築に取り組んでいきたい。	H24.6.4	420,000
6 地域住民のコミュニティ 推進活動事業	つくいレクリエーションク ラブ	レクリエーション活動を通じて、子 どもから高齢者まで幅広い世代のコミュ ニケーションの場づくり、生きがいづ くりを提供する。また、講習会を開催し て、職場や地域のリーダーや指導者 にレク財を提供し、活用してもらうこと を目的とする。	第1回レクリエーション講習会「湘 南ノルディックハイキング」(5月) ノルディックウォーキング教室(6月 ～毎月第2土曜日に開催) 城山公民館事業「里山探検隊」(7 月) 第2回レクリエーション講習会「夏休 み子どもスポーツ教室～マウンテン バイク」(7月) さがみはらスポレクフェスタ(10月) 城山もみじまつりに参加(10月) 春休み子どもスポーツ教室～ダ ブルダッチ(3月)	城山もみじまつりで実施したレク スポーツ体験教室は、300名の子ども たちがラダーゲッター等のレクリエ ーションを体験した。子どもはもちろ ん大人も童心にかえり、ともに時間を 共有することで、幅広い世代間の交流 を行うことができた。 夏休みに開催した「マウンテンバ イク教室」、春休みに開催した「ダ ブルダッチ教室」では、参加した子 どもたちから、「飛べるようになって嬉 しかった。楽しかった。」「先生 たちがカッコよかった。」という 声が聞かれた。	ニュースポーツやレクリエーション を通じて、楽しく元気にコミュニティ づくりが実践できたとともに、地 域の子どもたちと学生との交流も 図られ、豊かなコミュニティづく りに貢献できたことと評価してい る。 今後も子どもから大人まで、誰 でも気軽に楽しめるスポーツの さらなる普及を目指し、活動の 発展に繋げていきたい。	H24.6.4	70,000
7 緊急情報マップ作成事 業	城山地区まちづくり会 議 安心安全部会	緊急情報マップを作成し、城山地区 の住民に全戸配布をすることで、地 域住民の防災や防犯意識を高めると ともに、いざというときに役立つ情 報を提供し、災害時の備えの一助と することを目的とする。	城山地区の防災力を強化するた め、城山地区内を学区ごとに4分割 し、それぞれの地域の情報を網羅し た防災マップを作成した。 作成したマップは、ポスティングや 各自治会を通じて城山地区の全世帯 に対して配布し、防災意識の向上を 図った。 印刷部数:10,000部 完成年月日:平成25年3月29日	城山地区に全戸配布を実施するこ とで、各家庭の防災意識の向上を 図ることができ、地域全体の防災力 の強化に繋がった。 また、防災に関わる情報のみなら ず、各家庭において交通・防犯等 の情報を補完していくことで、安 心安全なまちづくりの推進に 貢献できた。	マップに掲載する情報を重要なも のに限定し、あえて空白を多くす ることによって、各家庭が家族 で話し合いながら情報を補完し、 「わが家の防災マップ」として 完成させることで、災害時の 備えや防災意識の向上を図るこ とができたことと評価している。 このマップが効果を発揮するの は今後の取組次第であり、引き 続き地域防災力を高め、安心 安全なまちづくりを推進してい きたい。	H24.7.3	350,000
							3,000,000